

図書館に「姉水文庫」を開設しました

平成32年(2020年)、東京オリンピック開催予定の年に、創立100周年を迎える虎姫高等学校は、この春に卒業生が20,000人を超えます。本校同窓生の方々は各方面で活躍しておられますが、本校図書館内に「姉水文庫」を開き、同窓生の方ご自身が著述・出版された書籍、あるいは同窓生の方の活躍を伝える評伝等を収めていきたいと考えています。

目的は、在校生が書籍等を通して諸先輩の人生や業績について知り、また追体験することによって、虎姫高校の積み重ねられてきた伝統の上に自らが位置することを自覚し、自分の人生を切り拓いていく意欲や意志を強める契機としてほしいという願いです。

現在、6人の先輩方からご寄贈いただいている書籍で開架しましたが、この後、100周年までに100人以上の同窓生の皆さまに係る書籍が寄贈、收藏されることを目標に取り組んでいきたいと思っています。原則としてジャンルや内容は問わず、人権上の問題があるものや公序良俗に反すると判断されるもの以外は、寄贈いただいたものを開架していく予定です。

「100年100人」を一里塚の目標とし、今の生徒が将来の寄贈者となるような未来へつながる事業となることを夢見て、取り組んでいけたらと考えています。これからも継続的な取り組みになるよう、同窓生の皆さまのご理解、ご協力をお願いします。もし同窓生の方やそのご家族の方等で「姉水文庫」の趣旨をご理解いただき、新規または追加でご寄贈いただける書籍があれば、本校までご連絡をお願いします。

